

【分野別】行政機関向け 若年性認知症の人の 支援に関する研修会

定員
150名
無料

若年性認知症は、18から64歳までに発症し、現在の年齢も64歳以下である認知症の総称です。発症年齢や疾患の違いで生活状況、活動状態は異なりますが、本人・家族が直面する問題は多岐にわたります。特に働き盛り世代という点で、高齢発症の認知症と比較して経済的、社会的な課題が大きく、本人・家族のニーズをひとつの制度だけでカバーすることが困難な場合があります。

本研修は、若年性認知症の支援について2回シリーズ（医学的知識・分野別）の第2回研修として、分野横断的な対応が求められます若年性認知症の支援に携わる市町村、認知症疾患医療センター、本人・家族の会の取り組みを紹介し、それぞれが抱える問題・課題を共有した上で、多機関連携・協働のあり方について学びます。

日時

2月4日(水)13:30~16:00 (受付13:15~)

場所

エル・おおさか 南ホール（南館5階）

対象

大阪府下の市町村職員（障がい福祉・高齢福祉・地域共生・重層支援体制整備事業の担当者）、障がい者基幹相談支援センター職員、認知症地域支援推進員等

※本研修は2回シリーズ（第1回（共通講義）・第2回（分野別講義））の研修です。
第1回研修を未受講の方も、お申し込みいただけます。詳しくは、裏面をご確認ください。

テーマ **「多機関協働で取り組む若年性認知症支援」**

登壇者

山口 有紀 氏

(東大阪市福祉部高齢介護室 地域包括ケア推進課)

山下 容子 氏

(吹田市福祉部障がい福祉室 基幹担当)

山本 哲也 氏

(医療法人清心会八尾こころのホスピタル 八尾市認知症地域支援推進員)

瀧尻 真実 氏

(医療法人清心会八尾こころのホスピタル 医療福祉支援課 精神保健福祉士)

中村 淳子 氏

(公益社団法人認知症の人と家族の会 大阪府支部)

中牟田 なおみ 氏

(大阪大学医学部附属病院神経科精神科)

申込方法

* 申込締切り：1月28日（水）

大阪府行政オンラインシステム（以下URL「手続き一覧（個人向け）」のサイト内）より「若年性認知症の人の支援に関する研修会」を検索し、【行政機関向け】記載の手続きより、お申し込みいただけます。

* URL:<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/portal/home>

主催：大阪府・大阪大学医学部附属病院神経科精神科



アクセス・お問い合わせ先

会場

エル・おおさか 南ホール(南館5階)

*住所：大阪府中央区石町2-5-3

アクセス

*天満橋駅（京阪・Osaka Metro谷町線）
より徒歩5分

*北浜駅（京阪・Osaka Metro堺筋線）
より徒歩8分

お問い合わせ先

- ・大阪府行政オンラインシステムについて
大阪府介護支援課認知症・医介連携グループ 06-6944-7098
- ・研修内容について
大阪大学医学部附属病院神経科精神科 06-6879-3051



共通講義のオンデマンド配信について

- ・共通講義「若年性認知症の医学的知識に関する研修会」のオンデマンド配信（Youtubeの限定公開にて実施）を予定しています。
- ・視聴用URLにつきましては、共通講義（12月15日（月））の実施後、配信の準備が整い次第、共通講義未受講のお申し込み者あて（お申し込み時にご登録いただいたメールアドレスあて）にお知らせします。
- ・共通講義は、各分野別研修会を受講いただく上での基礎知識となりますので、**未受講の方は、必ず本研修当日までにご視聴ください。**

共通講義「支援に繋げるための若年性認知症の基礎知識」

講師：釜江 和恵 医師

（公益財団法人 浅香山病院 精神科副院長・認知症疾患医療センター長）

若年性認知症は、18～64歳までに発症し、現在の年齢も64歳以下である認知症の総称です。若年性認知症は病気のひとつだと思われがちですが、病名ではありません。様々な疾患が原因となっているにもかかわらず、若年性認知症と一括りにされてしまう傾向にあります。

家庭、職場、地域で若年性認知症の方を支援する際は、原因疾患ごとの特徴と支援のポイントを知っておくことが重要となります。

共通講義では、若年性認知症の原因疾患で最も多いアルツハイマー病を中心に疾患への理解を深め、支援に携わる者が知っておきたい対応のポイント等について学びます。